

小学校第2学年2組 体育科 学習指導案

期 日 平成22年10月13日(水)第5校時
場 所 合志市立合志南小学校 体育館
指導者 教諭 小川 裕子

1 単元名

「マットを使った運動遊び」(器械・器具を使つての運動遊び)

2 単元について

(1) 本単元では、マットを使つて、いろいろな方向へ回ったり、転がったり、手で体を支えたり、バランスをとるなど、日常の動きとは異なつたいろいろな動きを体験できる楽しい運動遊びを行う。

(2) 本単元の系統

	小学校1・2年生	小学校3・4年生	小学校5・6年生
内容	器械・器具を使つての運動遊び	器械運動	器械運動
構成	・固定施設を使った運動遊び ・マットを使った運動遊び ・鉄棒を使った運動遊び ・跳び箱を使った運動遊び	・マット運動 ・鉄棒運動 ・跳び箱運動	・マット運動 ・鉄棒運動 ・跳び箱運動

(3) 本単元に係る児童の実態 (男子17人、女子14人、計31人)

○情意面に関する実態

体育の授業が好きですか？

とても好き27人 少し好き4人 少し嫌い0人 とても嫌い0人

マット遊びの授業が好きですか？

とても好き22人 少し好き8人 少し嫌い1人 とても嫌い0人

体育をするのが得意ですか？

得意12人 少し得意16人 少し苦手3人 苦手0人

マット遊びをするのが得意ですか？

得意12人 少し得意14人 少し苦手5人 苦手0人

○学び方に関する実態

体育の時、どうしたらうまくできるか考えますか？

はい23人 いいえ7人 どちらでもない1人

体育の時、上手な友達をまねしますか？

よくまねする5人 少しまねする9人 あまりまねしない6人 まねしない11人

体育の時、わからないことを友達や先生に聞きますか？

よく聞く6人 少し聞く7人 あまり聞かない11人 聞かない7人

体育の時、上手なやり方を友達に教えていますか？

よく教える4人 少し教える9人 あまり教えない11人 教えない7人

マット遊びで上手になりたいことはどんなことですか？

- ・側転が上手になりたい(9人)。
- ・逆立ちが上手になりたい(3人)。
- ・バック転(バック転)が上手になりたい(6人)。
- ・ゆりかごが上手になりたい(3人)。
- ・前ごろごろ、前転が上手になりたい(2人)。
- ・まっすぐいけるようになりたい(2人)。
- ・きれいにできるようにになりたい(1人)。

マット遊びで友達や先生に教えて欲しいことはどんなことですか？

- ・側転の仕方を教えて欲しい(5人)。
- ・後ろ回り、後転を教えて欲しい(4人)。
- ・逆立ちを教えて欲しい(6人)。
- ・前転がり、前転を教えて欲しい(2人)。
- ・まっすぐいくのを教えて欲しい(2人)。
- ・どうやったらきれいに回れるか教えて欲しい(1人)。
- ・手と足を伸ばして体全体でごろごろするのを教えて欲しい(1人)。
- ・いろいろなころころを教えて欲しい(1人)。

○体力テストからの実態

種 目		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
男子平均	学級	9.3	14.9	27.8	30.9	25.3	10.21	123.3	12.7
	県	10.96	13.53	27.25	31.27	28.36	10.76	125.72	13.22
女子平均	学級	9.1	15.1	31.9	27.7	16.2	10.48	116.5	7.3
	県	10.22	12.69	29.88	29.89	21.65	11.11	115.20	7.66

・男女共通で俊敏性、持久力、巧緻性で県平均を下回っている。

○レディネス調査からの実態（教師の見取りによる評価）

	ゆり かご	前転が り	後ろ転 がり	丸太転 がり	首倒立	かえる 足打ち	壁登り 逆立ち	支持川 跳び
できる	8人	3人	3人	14人	16人	6人	16人	0人
おおむねできる	22人	26人	9人	17人	14人	17人	14人	27人
できていない	1人	2人	19人	0人	1人	8人	1人	4人

・前単元「多様な動きをつくる運動遊び」で学習した丸太転がりの習熟度は高い。後ろ転がりは、前学年での学習経験が少なく、習熟度が低い。

(4) 指導にあたっては、次の点に留意する。

- 第1時オリエンテーションで、学習のねらいを明確に示し、児童に見通しを持たせるとともに、学習のきまり、安全確認について指導する。
- 学習1では、既習事項を確認しながら個人又はグループで、「にんじゃしゅぎょう遊び」という活動を通じて、「マットを使った運動遊び」でねらいとする、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の支持や回転という基礎的・基本的な動き（じゅつ）を身に付けさせる。
- 学習2では、「おはなしにんじゃマット」という活動を通じて、児童一人一人が自己の課題解決に向けて主体的に取り組めるよう、身に付けた基礎的・基本的な動きを組み合わせ活用できるようにする。
- 学び方（安全面、きまり等）については、毎時間のはじめに知らせ徹底を図る。
- 毎時間のまとめでは、できるようになった児童を紹介し、動きのポイントの確認を行う。また、課題に応じて動きを工夫していた児童を紹介するとともに、思考・判断の評価を行う。
- 学習班（グループ）の編成は、男女混合の8グループをつくる（3～4人組）。
- 児童同士の教え合い学習が充実するように、動きのヒントとなる言葉を整理し、ボードにまとめいく。
- 本学習では、指導と評価の一体化を図るために次の評価活動を行う。
 - ・診断的评价：事前のアンケートにより児童一人一人の実態を把握し、事後のアンケートで変容を評価する。
 - ・学習シートを活用し、毎時間の自己評価・相互評価が的確に行えるように、評価の視点を明確に示す。

思考力、判断力、表現力等と言語活動
本単元では、思考力、判断力、表現力等が育成された児童の姿として、「基礎的・基本的な動きを組み合わせた、おはなしにんじゃマットでの一連の動きの習得」を考える。これらの動きを習得するために、動きの感覚やイメージを伝える学習、友達の動きを観察してよさや改善点を教え合う学習を、言語活動によって行っていく。言語活動の質的充実を図ることができるようになるために、教師はよい児童の動きから工夫させたい動き（学習課題）を示す。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	○きまりを守り仲よく運動したり，場の安全に気を付けたりすることができる。 ○マットを使った簡単な遊び方を工夫することができる。 ○いろいろな方向への転がり，手で支えての体の支持や回転をすることができる。
運動への関心・意欲・態度	○場の安全を確かめようとしている。 ○きまりを守って進んで運動に取り組もうとしている。
運動についての思考・判断	○活動の行い方を知るとともに，友達のよい動きを見付けている。 ○友達のよい動きを自分の動きに取り入れるなど，運動を工夫している。
運動の技能	○いろいろな方向に転がることことができる。 ○手や背中で体を支えることができる。

4 指導・評価の計画（6時間扱い 本時3時間目）

次 時	1	2		3	
	1	2	3	4・5	6
学 習 活 動	○学習のねらいや進め方を知る。 ○学習のきまりやグループを決める。 ○試しの運動をする。	○集合、あいさつ、学習の進め方を確認する。○協力して場づくりをする。○準備運動、マット体操をする。			
		○学習1の活動をする。 ・にんじゃしゅぎょう遊びをして楽しむ。 【前転がりの習得】 ○学習2の活動をする。 ・おはなしにんじゃマットをして楽しむ。 【基本形Ⅰの習得と活用】	○学習1の活動をする。 ・にんじゃしゅぎょう遊びをして楽しむ。 【後ろ転がりの習得】 ○学習2の活動をする。 ・おはなしにんじゃマットをして楽しむ。 【基本形Ⅱの習得と活用】	○学習1の活動をする。 ・にんじゃしゅぎょう遊びをして楽しむ。 【支持川跳びの習得】 ○学習2の活動をする。 ・おはなしにんじゃマットをして楽しむ。 【基本形Ⅲの習得と活用】	○まとめの発表会をする。
	○学習のまとめをする。 ○整理運動、後片付け	○学習のまとめをする。 ○整理運動、後片付け	○学習のまとめをする。 ○整理運動、後片付け	○学習のまとめをする。 ○整理運動、後片付け	○学習の振り返りをする。 ○整理運動、後片付け
※ 指 導 上 の 留 意 点	・児童と一緒に学習計画を立て、主体的な学習活動ができるようにする。 ※自分で感じた動きのイメージを伝え合わせる。	・本時の学習の見通しを持たせ、安全に進めていくためのきまりを確認する。 ・場づくりを安全に、素早く、協力して行うよう助言する。・準備運動では、ケガをしやすい部位を十分に行っているか観察する。			
		・学習1で、よい児童の動きから前転がりの動きのポイントを示す。 ※友達の <u>前転がり</u> を観察して、よいところや改善点を教え合わせる。 ・学習2で、よいグループの動きからおはなしにんじゃマットの学習課題を示す。 <u>ゆっくりできる</u> ・教え合い活動のよさを互いに確認させる。 ※友達の <u>よさやがんばりに</u> 気付かせ、言葉で交流させる。	・学習1で、よい児童の動きから後ろ転がりの動きのポイントを示す。 ※友達の <u>後ろ転がり</u> を観察して、よいところや改善点を教え合わせる。 ・学習2で、よいグループの動きからおはなしマットの学習課題を示す。 <u>ゆっくりできる</u> ・教え合い活動のよさを互いに確認させる。 ※友達の <u>よさやがんばりに</u> 気付かせ、言葉で交流させる。	・学習1で、よい児童の動きから支持川跳びの動きのポイントを示す。 ※友達の <u>支持川跳び</u> を観察して、よいところや改善点を教え合わせる。 ・学習2で、よいグループの動きからおはなしマットの学習課題を示す。 <u>大きく・きれいにできる</u> ・教え合い活動のよさを互いに確認させる。 ※友達の <u>よさやがんばりに</u> 気付かせ、言葉で交流させる。	・自分で感じた動きの感覚やイメージを伝えられるような発問を行う。 ※自分で感じたにんじゃマットの動きの感覚やイメージを伝え合わせる。 ・自己の学習を振り返り、友達との教え合いが有効であったか確認させる。
(方法) 評価項目	【関心・意欲・態度】 進んで運動に取り組もうとする。(観察、シート)	【関心・意欲・態度】 場の安全に気を付け、きまりを守りながら取り組もうとする。(観察、シート) 【思考・判断】 友達のよい動きを見付け、自分の動きに取り入れながら運動している。(観察、シート) 【技能】 いろいろな方向への転がり、手や背中で体を支えることができる。(観察、シート)			【思考・判断】【技能】 自分の得意なおはなしにんじゃマットを発表することができる。

5 本時の学習

(1) 目標

- ・動きを工夫しながら体を動かし、マットを使ったにんじゃ遊びをして楽しむ。
- ・安全に留意し、友達と教え合いながら学習を進めることができる。

(2) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	教師の指導及び評価 ※言語活動	備考
導入 10分	1 集合、あいさつ、学習の進め方を確認する。【一斉】	○安全を確かめながら学習を進めましょう。	○場や周りの安全を確認すること、きまりを守って学習することを意識させる。	学習計画表 学習資料 ビブスマット 踏切版
	2 場づくりをする。【グループ】	○全員で協力して、素早く行いましょう。	○場の安全を確認する。	
	3 準備運動、マット体操をする。【一斉】	○ケガをしないように十分に行いましょう。	○しっかり行われているか観察し、助言する。	
展開 30分	4 [学習1] にんじゃしゅぎょう遊びをして楽しむ。 【グループ】 ↓ 【一斉】 ↓ 【グループ】	○忍者になりきって動いてみよう。 〈転がりしゅぎょう〉 ・丸太転がりのじゅつ ・前転がりのじゅつ ・後ろ転がりのじゅつ ○友達のよいところをみつめてみよう。 ・後ろ転がりのじゅつ 【学習課題】 後ろ転がりの手の使い方を考えよう	○一つ一つの動きを提示し、一斉に運動しながら動き方を確認する。 ※友達の動きを観察して、よいところや改善点を教え合わせる。 ○よい児童の動きから学習課題を示す。	
	5 [学習2] おはなしにんじゃマットをして楽しむ。 【一斉】 ↓ 【グループ】 ↓ 【一斉】 ↓ 【グループ】	○おはなしにんじゃに合わせて動いてみよう。 ・基本形Ⅱの習得 ○班で動きを工夫してみよう。 ・基本形Ⅱの活用 ○友達のよい動きをまねしてみよう。 【学習課題】 おはなしにんじゃマットをゆっくりできるようになろう	○一連の動きを提示し、一斉に運動しながら動き方を確認する。 ----- 評価 B：友達のよい動きを取り入れながら、おはなしにんじゃマットができる。 【観察、シート】 A：よい動きを組み合わせ、おはなしにんじゃマットができる。 ----- 【観察、シート】	
終末 5分	6 学習のまとめをする。【一斉】	○教え合いでよかったことを紹介しよう。 ○できるようになったことを紹介しよう。 ○学習カードに今日の振り返りを書きましょう。	※友達のよさやがんばりに気付かせ、言葉で交流させる。 ○できるようになった児童を紹介し、動きのポイントを再確認させる。	学習カード
	7 整理運動をする。【一斉】	○ケガがないか確かめながら行いましょう。	○体調不良やケガがないか確認する。	
	8 後片付けをする。【グループ】	○全員で協力して、素早く行いましょう。	○最後まで、協力して安全に行われているか観察し、助言する。	